

応募資格

岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。
県外の応募者にあつては岩手県との関わりを記入すること。(かつて居住した岩手県の市町村名など)

公募内容

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目のうち、
日本語で書かれた未発表の創作作品。
(ただし、戯曲・シナリオについては上演済みの作品も可)

応募原稿					
種 目	応募できる 作品数	原稿枚数	題名 記載場所	応募者情報 記載場所	その他
小 説	1 篇	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目	末尾 又は別紙	
戯 曲・ シナリオ	1 篇	原稿用紙50枚程度 (文字数換算可)	1行目		●内容は下記のいずれかとし、応募者情報に 記載すること。 (1)演劇一幕もの (2)ラジオドラマ (3)テレビドラマ
文芸評論	1 篇	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目		●研究的内容のものも可とする。
随 筆	1 篇	原稿用紙4枚	1行目		●規定する枚数を超えないこと。
児童文学	1 篇(少年少女詩、 童謡の場合は 3 篇以内)	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目	別紙	●フィクション、ノンフィクションを 問わない。
詩	3 篇以内	1 篇につき 原稿用紙 3 枚以内	1行目	別紙	●行あけを明確にすること。 ●篇ごとの通し番号を付すこと。 (篇・頁: 1-1, 1-2, 1-3, 2-1、…)
短 歌	10首	原稿用紙1枚	欄外	裏面	
俳 句	雑詠5句 1 組	はがき1枚 (メール可)	1行目		●作品に題名を付すこと。
川 柳	雑詠7句				

- (1)原稿用紙の規格は、サイズをA4またはB4とし、20行×20行の400字詰めとする。
(2)応募原稿は縦書きとし、複数枚の場合はページ番号を付し、右上綴じとする。
(3)応募者情報は、次の①から⑦を記載し、提出の際は、種目別に指定する方法で、応募原稿に添えて提出すること。
①筆名(ある場合のみ) ②氏名 ③住所 ④年齢 ⑤(日中連絡のとれる)電話番号 ⑥Eメール(ある場合のみ) ⑦岩手県との関わり(県外在住者のみ)

点字で応募する場合

※32マスの点字器を使用し、点字用紙片面打ち1枚あたり16行を標準とする。
(他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。)各種目の枚数は次の表のとおり。

小 説	戯曲・シナリオ	文芸評論	随 筆	児童文学
40枚以内	66枚程度	40枚以内	6枚	40枚以内

- (1)会話の部分は行を改め、「」を使用すること。
(2)段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。
(3)繰返符号は用いないこと。
(4)句点を入れること。
(5)墨字訳にあたり使用を希望する漢字がある場合は、別紙に箇条書きにすること。

賞の概要 ————— 入賞者は岩手県文化振興事業団のHP上で発表し、表彰式において正賞及び副賞を授与する。

芸術祭賞	各種目 1 作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶ 3万円
優秀賞	各種目 1 作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶ 2万円
奨励賞	各種目2作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶ 1万円
佳作・入選・選者賞 等	詩/短歌/俳句/川柳のみ、任意の点数 ●正賞▶作品集掲載	

発表日 令和7年10月3日(金)

表彰式 別途受賞者へ案内 会場 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)中ホール
(予定)

選 者	小 説	●大平 しおり	●村井 直衛			
	戯曲・シナリオ	●落合 昭彦	●高村 明彦			
	文芸評論	●牛崎 敏哉	●塩谷 昌弘			
	随 筆	●須藤 宏明	●野中 康行			
	児童文学	●千葉 留里子	●藤原 成子			
	詩	●平山 千春	●永田 豊	●佐藤 岳俊		
	短 歌	●折居 路子	●菊池 陽	●鷹觜 真智子	●外館 克裕	●八重嶋 勲
	俳 句	●澤口 航悠	●二階堂 光江	●五日市 明子	●及川 永心	●鎌倉 道彦
	川 柳	●坂下 一美	●澤瀬 海山	●山田 美鈴		

応募上の注意

- (1)応募作品が過去に発表されていたことが確認された場合は、入賞・入選を取り消すことがある。
(2)手書き原稿の場合は万年筆やボールペン等を用いて、かい書で書いた原稿を提出すること。(鉛筆書きは不可とする。)
(3)データ原稿の場合は、データ形式はMS word (.doc/.docx)、テキスト(.txt)、PDF(.pdf)のみとする。
(4)種目毎の応募できる作品数を超えて応募した場合、審査対象外とする。
(5)複数の種目に応募することができるが、メールで応募する場合は、必ず1種目ずつ別送し、郵送で応募する場合は区分して封入すること。
(6)提出後の作品の訂正は受け付けないこと。
(7)応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
(8)特定の個人・団体を誹謗・中傷する作品、公序良俗に反する内容の作品、本公募要項に違反している作品、その他選者が相応しくないと判断した作品は選考対象外とする場合があること。
(9)受賞作品を作品集に掲載する際の体裁の指定はできないこと。

応募締切 令和7年8月22日(金) 消印有効

作品集の刊行／令和7年12月12日(金)刊行予定(県内書店で販売)

お問い合わせ先

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団業務支援室内)
〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
●電話／ 019-654-2235 ●FAX／ 019-625-3595
●mail／ i-geijutsu@iwate-bunshin.jp

応募方法【電子メール】【郵送】のいずれか

岩手県文化振興事業団HP▶
「岩手芸術祭に関するお問合せ」
「メールでの連絡」フォームより応募
(岩手芸術祭実行委員会事務局)

電子
メール

標題に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と明記し、応募作品はWord等のファイルにして添付のうえ送信すること。ただし、短歌・俳句・川柳の作品については、本文記載も可とする。メール送信後1週間以上、作品を受信した旨の返信がない場合は事務局まで電話で問い合わせること。

郵 送

〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 岩手県民会館内
岩手芸術祭実行委員会『県民文芸作品集』係

封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

個人情報の取り扱い

応募者の個人情報は、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。

提出前にもう一度確認【よくある不備リスト】

書式の不備

- ▶縦書きですか？
▶題名の記載場所は指定とおりですか？
▶ページ番号は付与しましたか？

枚数・文字数の超過

- ▶指定された枚数又は文字数ですか？
▶首数・句数の不足や超過
▶指定の首数、句数ですか？

応募者情報の不足

- ▶筆名の方は本名を記載しましたか？
▶県外在住の方は、岩手県との関わりについて記載していますか？

応募及び
大会参加資格

岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。

小説

日 時

令和7年10月11日(土)午後1時30分～ ※9月30日までに申し込むこと。

会 場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)

内 容

県民文芸作品集応募作品の講評 講師●大平 しおり ●村井 直衛

事 務 局

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団業務支援室内)
〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

戯曲

日 時

未定

会 場

盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)

参 加 費

未定

内 容

戯曲に関する講座、またはワークショップ。

事 務 局

●高村 明彦 〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 ●TEL / 090-1498-3591

運 営 委 員

●高村 明彦 ●中村 剛造

文芸評論

日 時

令和7年10月13日(月・祝)午後1時～午後5時(午後0時30分～受付)

会 場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第3会議室(盛岡市内丸13-1)

内 容

小講演と研究発表
小講演 「日本文明・文化の位置～「歴史」、「論理」の観点から～」 講師●望月 善次
「東北の「隠り沼」について」 講師●塩谷 昌弘
「童話集『注文の多い料理店』出版と宣伝」 講師●牛崎 敏哉
研究発表: 1～3人
★発表資格: 次の1.又は2.のいずれかを満たす方
1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者
2.9月8日(月)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方。
なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。

参 加 費

無 料

事 務 局

●牛崎 敏哉 〒025-0001 花巻市天下田150-14 ●TEL / 090-2932-2628

運 営 委 員

●牛崎 敏哉 ●望月 善次

随筆

日 時

令和7年11月3日(月・祝)午後1時30分～ 3時30分頃 ※10月15日までに申し込むこと。

会 場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)

内 容

県民文芸作品集応募作品の講評 講師●須藤 宏明 ●野中 康行

事 務 局

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団業務支援室内)
〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

児童文学

日 時

令和7年10月26日(日)午前10時30分～午後3時30分

会 場

トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)

内 容

①県民文芸作品集応募作品の選評と合評 講師●千葉 留里子
②講演会と意見交換「児童文学との出会い ―岩手児童文学の会50年のあゆみ―」
講師●藤原 成子(児童文学作家) ●ちば るりこ(児童文学作家)

参 加 申 込

メール又はハガキで事務局まで。講演会(午後1時30分～)については当日参加も可。

事 務 局

●千葉 留里子
〒020-0114 盛岡市高松2-25-30 ●TEL / 019-661-6672 ●mail / ruri60-60@outlook.jp

運 営 委 員

●千葉 留里子 ●佐々木 喜久子

種目毎の大会の内容

大会の内容に関するお問い合わせは各大会事務局までお願いいたします。

詩

日 時

令和7年10月25日(土)午前10時～

会 場

なはんプラザ(花巻市定住交流センター)(花巻市大通り1丁目2-21)

会 費

1,000円(当日受付、資料代ほか)

応 募 作 品

未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。ワープロ原稿はA4判に印字のこと。尚、原稿1編につきコピー原稿を3部添付すること。選者の講評をご希望の方は切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。

選 者

●平山 千春 ●永田 豊 ●佐藤 岳俊

表 彰

文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。

公 募 期 間

令和7年7月1日(火)より9月5日(金)※必着のこと

事 務 局
(応募先)

岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局
〒029-2205 陸前高田市高田町字山苗代58-8 ●松崎みき子 ●TEL / 0192-55-2628

運 営 委 員

●菊池 唯子 ●松崎 みき子

短歌

日 時

令和7年10月25日(土)午後1時～午後4時

会 場

盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)

会 費

出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費500円(後日、詠草集に同封された払込取扱票にて払い込むこと。)

詠 草

1首(未発表作品) はがきを使用。住所・氏名(ふりがなを付ける)・電話番号・年齢を明記。学生は学校名も明記。

選 者

●折居 路子 ●小笠原 和幸 ●菊池 哲也 ●吉田 史子

表 彰

優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、高点歌賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。

応 募 締 切

令和7年8月30日(土)消印有効

事務局(応募先)

●外館 克裕 〒020-0617 滝沢市湯舟沢329-89 ●TEL / 019-684-4369

運 営 委 員

●外館 克裕 ●山本 豊 ●吉田 史子

俳句

日 時

令和7年10月12日(日)午前10時～午後3時30分

会 場

岩手県公会堂(盛岡市内丸11-2)

参 加 費

1,500円(資料代等)

作 品

当季雑詠3句(投句締切 午前11時)

内 容

句会、互選、選者選、披講、講評、表彰

選 者

●澤口 航悠 ●二階堂 光江 ●五日市 明子 ●及川 永心 ●鎌倉 道彦

表 彰

優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状を贈るほか、各選者賞を贈る。

事 務 局

●伊藤 恵美 〒020-0133 盛岡市青山3-10-1 ●TEL / 090-7939-0797

運 営 委 員

●伊藤 恵美 ●四戸 美佐子 ●吉村 翌檜女 ●中村 紀子 ●太田 加留子 ●高橋 千衣子

川柳

日 時

令和7年10月4日(土)午前10時～午後3時

会 場

陸前高田市コミュニティホール 会議室(陸前高田市高田町字栃ヶ沢210-3)

会 費

2,500円(記念品・昼食・発表誌)

席題と選者(2句詠)

「印象吟」●黄川田 敬子 ●紺野 江久子 共選

宿題と選者(各題2句詠)

「食」●多田 幸子 「体」●山岸 山河
「芸 術」●山田 美鈴 「祭 り」●河野 康夫
「雑 詠」●伊藤 豊志 「雑 詠」●熊谷 岳朗

賞

文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、特別賞(総合1位)、合点賞(2～15位迄)、特選賞

欠席投句拝受

用紙自由。住所・氏名(雅号)^{ふりがな}・電話番号を明記。9月27日(土)消印有効、事務局伊藤まで。
投句料1,000円(現金または小為替、切手は不可)

事 務 局

●伊藤 豊志 〒027-0028 宮古市神林5-25 ●TEL・FAX / 0193-62-1137

現地事務局

●佐々木 多美子 〒029-2204 陸前高田市気仙町字福伏130-12

運 営

●岩手県川柳連盟 ●陸前高田一柳会

※複数口不可、席題は2名共選、
「雑詠」は同一句禁